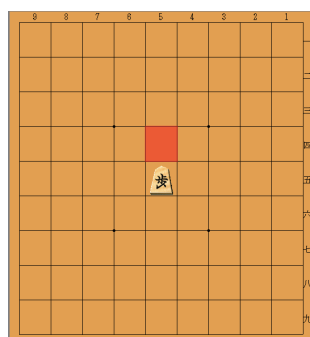


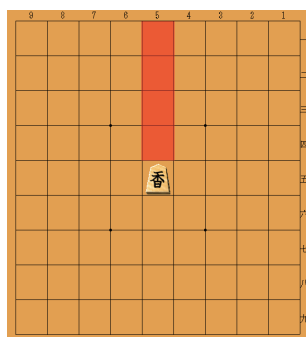


# 駒の動き方と詰将棋の解き方

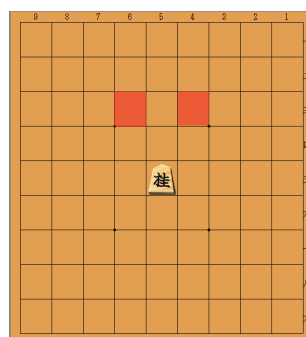
## ●駒の動き方



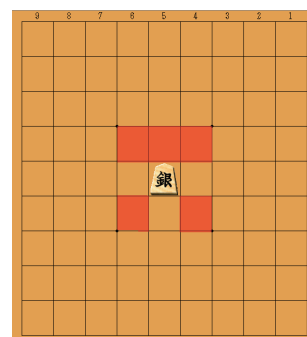
歩



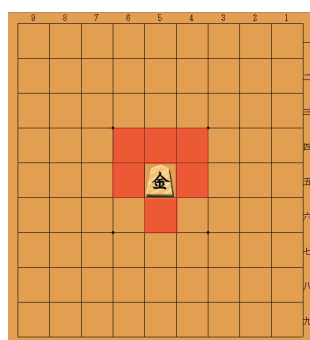
香車



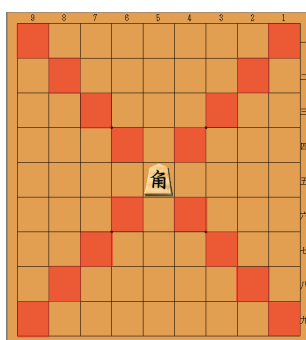
桂馬



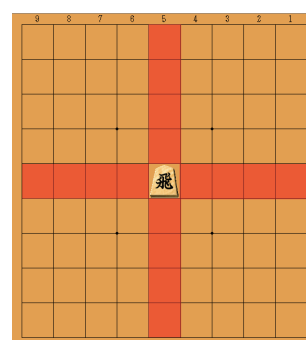
銀



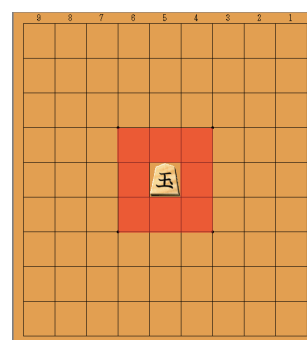
金



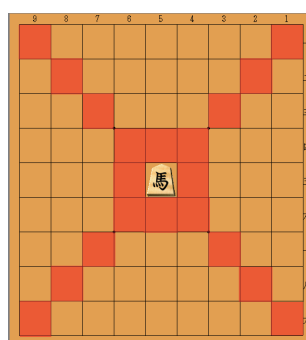
角



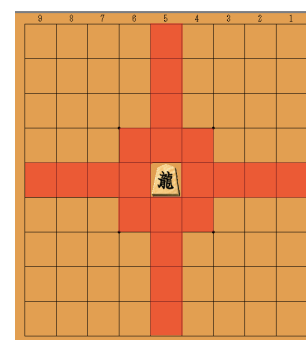
飛車



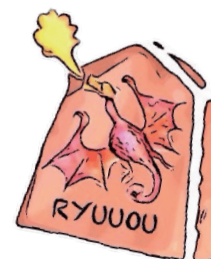
玉



馬



龍

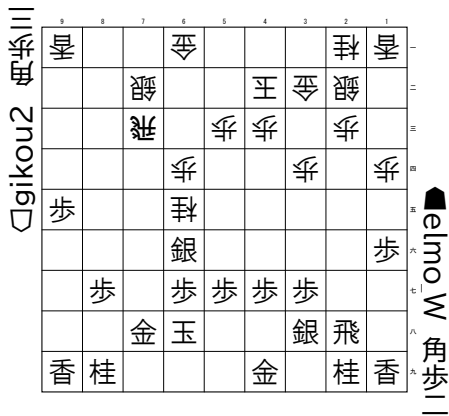


## ●駒の弱点

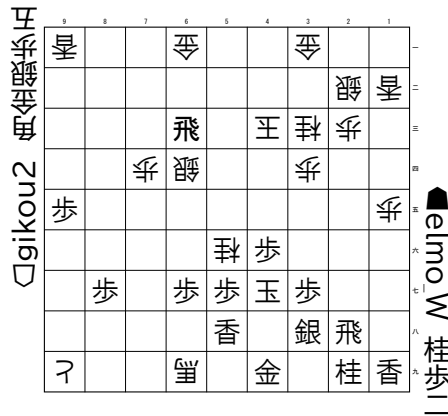
利きのないところが駒の弱点になります。将棋は王様を詰めれば勝ちのゲームですが、途中の戦いを有利に進めるためには駒の弱点を知っておく必要があります。

## ●駒の弱点の練習問題

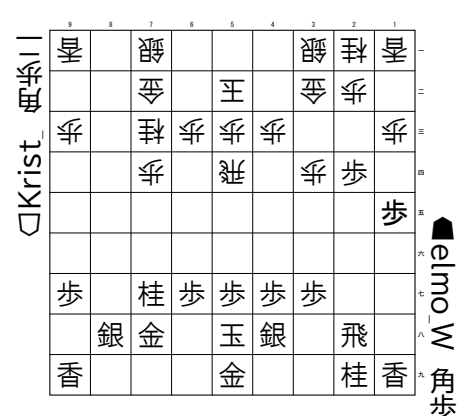
第1問



第2問

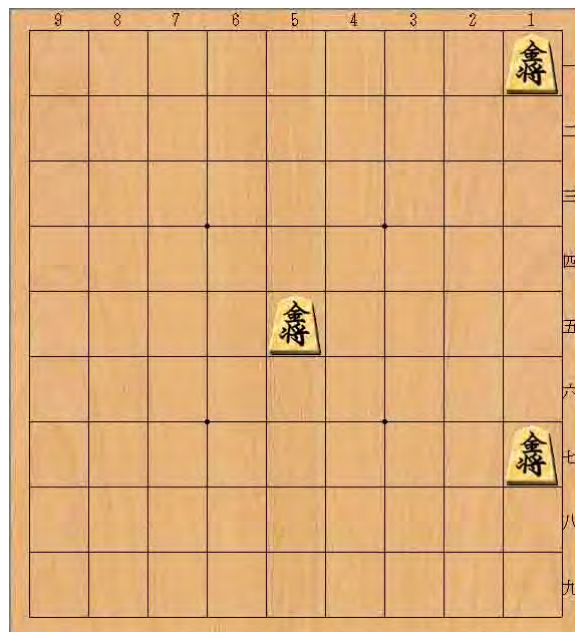


第3問



## ●それぞれの駒の力は位置によって違う

例えば金を例にとってみます。中央の金は利き数が5ですが、端っこの金は利き数が4に減る。相手陣のカドは2です。このようにほとんどの駒は中央にいたほうが力が強い。

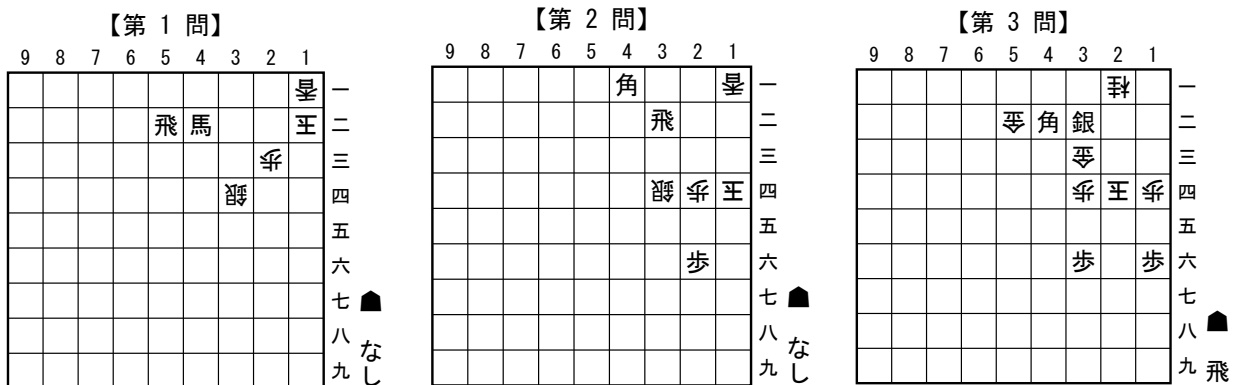


## ●詰将棋の解き方 ～徹底的にロジカルに～

詰将棋は将棋の最後の王様を詰める問題。詰むか詰まないか、正解か不正解かしかありません。このような問題の前ではロジカルに考えることが必要。なんとなく詰みそうではダメ。きちんと読み切らなければなりません。このような考え方はIT機器に向き合う時にも必要です。

## ●詰将棋の問題を前にした時の考え方

問題を目にして「難しそう」とか「めんどくさい」と考えるのは時間のロスにもなるし良いことはありません。その感情を締め出すには「玉の位置を確認する」とか「玉の可動域を確認する」とか自分なりの儀式を決めておきましょう。



## ●相手の王様の位置を変えたらと考える

王様の位置を変えたら詰むならそこに駒を捨てると解ける。



## ●相手の王様の周りの駒の位置を変えたらと考える

王様の周りの駒の位置を変えたら詰むなら捨駒などで位置を変えてやる。

## ●自分の駒がいなければと考える

自分の駒がいないと詰む時があります。その場合は何とかして自分の駒を消す手順を考える。上の図面3問は○手詰と指定していないので、1手詰だと思わずに難しいと思った人もいたかもしれません。このように実は簡単な問題でも感情が邪魔をして解けないことがあります。その感情を締め出すにはとにかくロジカルに考えること。